



尚徳福祉会 日野保育園 2020年2月

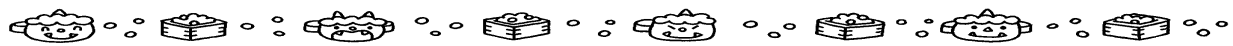
ぽかぽかと暖かい日が続き、散歩先の公園では梅の花やたんぽぽを見つけ、春が近付いていることを感じる今日この頃です。子どもたちも上着を脱ぎ、おひさまの暖かさを十分に感じながら遊んでいます。インフルエンザなどの感染症が増える時期ですが、手洗い・うがいをしっかりと行い、元気に過ごしていきたいと思います。



☆手洗いで大切だね☆

看護師による『手洗い講習』を受けました。最近冷たい水を嫌がったり、「早く遊びたい!!」という気持ちから手洗いが雑になったりしがちな子どもたちです。「手は洗ってあるかな?」の問いかけにも「きれいに洗ったよ♪」と自信の表情を見せていました。そこで、加藤看護師が石鹸をつけて丁寧に洗った保育者とささっと水洗いしただけの保育者二人の手に『魔法のスプレー』をかけると…不思議なことに、水洗いだけの保育者の手は真っ黒に!!目には見えないはずのばい菌が見えることで、とてもビックリしていました。中には、慌てて石鹸で手を洗い直す子もいました。

講習後は、「上手な手洗い☆」のイラストを見ながら、丁寧に洗うようになりました。ガラガラうがいも練習しながら、風邪やインフルエンザを予防していきたいと思います!!



☆鬼にへーんしん☆

節分に向け、鬼のお面と豆入れを作りました。それぞれ、土台となるものだけを準備し、あとは子どもたちの自由な発想で制作をすすめていきました。鬼のギザギザとした歯を表現したり、目を強くして鬼らしさをだしたり…と、イメージしたものを切り貼りしながら作っていき、みんな大満足の作品ができました♪

そして、3日の豆まき集会には鬼に変身して参加しました。『赤鬼と青鬼のタンゴ』のダンスを踊ったり、ひまわり組のお兄さん・お姉さん鬼を相手に豆まきをしたりして楽しんでいるところへ(保育者が扮する)赤鬼&青鬼が登場!! 保育者の後ろに隠れたり、顔をこわばらせながらも豆を投げたりしながら鬼退治を頑張った子どもたちでした。

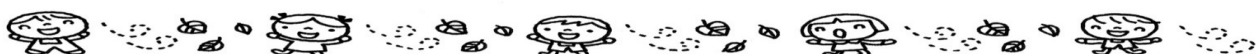
☆おまけ☆豆まき集会を終え、清々しい気持ちの中の一言…

Aちゃん「鬼田ごんろうさんに『日野保育園に来てくれてありがとう』ってお手紙書こうよ♪」

保育者「また、来てくださいますか?」

Aちゃん「それは、もういいや〜」

…ちなみに、さくら組での鬼の呼び名が『鬼田ごんろうさん』と『鬼川しずおさん』でした!!



☆お散歩だいすき☆

『子どもは風の子』と言われますが、さくら組の子どもも寒い中での戸外遊びが大好きです。最近では四ッ切り公園や港南台中央公園など片道30分程かかる公園まで歩き、大きな遊具に挑戦したり走り回ったりして遊んでいます。帰り道には「いっぱい遊んだからおなかすいた!!」「今度はもっと遠い公園に行こうよ」なんて声もあるほど、長距離散歩を楽しんでいます。14日の港南台北公園への散歩も待ち遠しい子どもたちです☆